



脱炭素チャレンジカップ 2020 で文部科学大臣賞

脱炭素チャレンジ2020

～文部科学大臣賞&オーディエンス賞2つのトリプル受賞を達成～

<プレスリリース要約>

去る2月19日(水)東京大学内伊藤謝恩ホールにおいて、脱炭素チャレンジカップ 2020 が開催されました。

脱炭素チャレンジカップは、環境省、文部科学省等が後援し、地球温暖化防止全国ネットと一般財団法人セブン・イレブン記念財団が共催する、我が国最大規模のエコな取り組みについて発表するプレゼン大会であり、昨年まで行われていた低炭素杯から名前を変えて10回目となる催しです。

本大会は、全国から183団体の応募が集まり、審査委員会の選考によって、学生部門7団体、ジュニアキッズ部門6団体、市民部門8団体、企業・自治体部門7団体のファイナリストとして選ばれた合計28団体が地球温暖化防止や脱炭素に資する様々な取り組みを発表しました。

当センターより応募し、ファイナリストとなった2団体が素晴らしい活躍をしましたので以下に示します。
「ジュニアキッズ部門」で出場した逆川こどもエコクラブが劇団シンデレラとのコラボで「文部科学大臣賞」及びゲスト審査員投票の上位2チームに贈られる「オーディエンス賞」のW受賞をいたしました。
「市民活動部門」で出場した千波湖水質浄化推進協会は「オーディエンス賞」を受賞いたしました。



国立環境研究所の五箇公一先生の基調講演とともに、2017大会で環境大臣賞金賞を受賞したホタルネットワーク mito 水戸英宏小中学校のOB高校生が、その後の活動報告をしました。



<受賞プレゼンの内容>

・「逆川こどもエコクラブ」⇒文部科学大臣賞＋オーディエンス賞のW受賞

逆川こどもエコクラブは、ジュニアキッズ部門で出場。第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）での学生会議とともに参加した愛知県の劇団シンデレラと、その後も交流を重ね、韓国のラムサール登録条約湿地ウポ沼で開催された日韓交流イベントにも出向き、コラボを続けてきました。今大会では「劇団シンデレラ with 逆川こどもエコクラブ」として出場。茨城県と愛知県という距離のハンデを乗り越えて息の合ったミュージカルを披露しました。SDGsを伝える劇団シンデレラとESDを継続してきた逆川こどもエコクラブによる息の合ったプレゼンは、審査員をはじめ来場者を感動の渦に巻き込んで、栄えあるW受賞となりました。



SDGsとESDの協働活動をミュージカルで披露



栄えある文部科学大臣賞を受賞しました

・「千波湖水質浄化推進協会」⇒オーディエンス賞

千波湖水質浄化推進協会は昨年9月に開催された県予選「クールアースいばらき大会」（主催：茨城県地球温暖化防止活動推進センター）において最優秀賞となっての出場です。市民の千波湖浄化にかける熱い思いと、暖候期に湖岸に設置されて稼働しているアオコ除去装置のシステムについて説明。地道な実践活動をユーモラスに表現すると同時に、活動内容を分かりやすく伝えたことで受賞につながりました。



千波湖のアオコを減らすため体を張った寸劇



投票上位2チームに贈られるオーディエンス賞をW受賞

<茨城県センター事務局より>

当日は茨城県地球温暖化防止活動推進員25名と昨年大会オーディエンス賞の「常磐大学松原ゼミ」も応援に来ていただき、出場者も事務局も心強く感じました。そして、ゲスト審査員投票によるオーディエンス賞のワン・ツー受賞に加え、栄えある文部科学大臣賞までいただくトリプル受賞に「チーム茨城」は盛り上りました。脱炭素への熱い想いを実感した一日となりました。おめでとうございました。

波湖水質浄化推進協会

